

《事情書の記入例》

第9号様式の2（第20条第6項第2号）

事情書

令和〇年〇月〇日

住所 千葉市中央区市場町1-1

借受人氏名 千葉太郎

電話番号 043-XXXX-XXXX

1 返還猶予の理由（返還が困難な状況を具体的に記入すること）

私は、高校卒業後に就職しましたが、正社員の職に就けず、現在は契約社員の仕事をしています。
 今、家族と一緒に住んでいますが、不況で父の自営業の収入が激減し、経済的に大変な状態です。
 まだ未成年の弟は、地方の大学に行っていますが学業が忙しく、アルバイト収入も少ないため、
 親が生活費等として毎月5万円の仕送りをして面倒を見ています。
 また、祖母は数年前に病気をし、身体障害認定を受けたため、母が自宅で介護をしており、
 母のパートも増やせません。私も給料が少なく、奨学金の返還が難しい状態ですので、
 私の収入が安定するまで、返還の猶予を希望します。

理由は、具体的に記入してください。

2 世帯構成（同一生計の家族を記入）

同居別居の別 (該当にレ点)	続柄	氏名	年齢	職業(勤務先等)	収入金額	所得金額
①	借受人(本人)	チバ 太郎	21歳	契約社員 (株式会社〇〇〇)	2,000,000円	
<input checked="" type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	② 父	チバ 一郎	54歳	自営業 (有限会社〇〇工業)		2,500,000円
<input checked="" type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	③ 母	チバ 菜子	50歳	パート社員 (〇〇スーパー)	800,000円	
<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	④ 配偶者					
<input type="checkbox"/> 同居 <input checked="" type="checkbox"/> 別居	弟	チバ 大助	19歳	大学生 (〇〇大学〇年生)		
<input checked="" type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	祖母	チバ トヨ	78歳	なし		
<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居						

・給与のみの方は、「収入金額」欄に記入（会社員等）
 ・所得のみの方は、「所得金額」欄に記入（自営業等）
 ・給与のほかに所得がある方は、各種所得金額の合計を「所得金額」欄に記入

(注) 給与所得のみの方は収入金額を記入し、それ以外の者は各種所得金額の合計を記入すること。

3 特別な事情（該当がある場合のみ記入）

特別控除の内訳	特別控除額	
	借受人(本人)	父・母・配偶者
⑤同一生計の障害者（1人につき99万円）	続柄(祖母) 1名	990,000円
⑥同一生計の長期療養者（医療費相当額）	続柄() 名	円
⑦災害等（震災・風水害・火災・その他）支出増又は収入減になると認められる年間金額		円
⑧同一生計で別居している親族への経済援助（上限48万円）	続柄(弟) 1名	480,000円

特別な事情がある場合は、該当する欄に続柄と人数、控除額を記入してください。

※以下は記入不要（認定欄）

借受人(本人)	所得金額合計 ①	特別控除額合計 ⑤+⑥+⑦+⑧	認定額 ①-(⑤+⑥+⑦+⑧)
父・母 配偶者の合計	所得金額合計 ②+③+④	特別控除額合計 ⑤+⑥+⑦+⑧	認定額 (②+③+④)-(⑤+⑥+⑦+⑧)